

## 福岡市美術館平成 26 年度事業報告について

## 1 展覧会の開催

## (1) 特別企画展

	展覧会名	会期	開催日数	出品点数	観覧者数	共催
①	法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り	4月19日～ 6月1日	38日	65点	24,228人	法隆寺 読売新聞社
②	黒田家の美術	9月2日～ 9月28日	24日	100点	10,210人	西日本新聞社 NHK福岡放送局
③	更紗の時代	10月11日～ 11月24日	39日	222点	8,372人	九州朝日放送 朝日新聞社
④	成田亨 美術／特撮／怪獣	平成27年1月6日 ～2月11日	32日	700点	11,684人	西日本新聞社 TVQ九州放送

## ① 法隆寺展 聖徳太子と平和への祈り（担当：後藤学芸員）

国宝・重要文化財 20 点を含む法隆寺、聖徳太子ゆかりの宝物を一堂に会する展覧会。

「銅造観音菩薩立像（通称：夢違観音（ゆめちがいかんのん）」（国宝）をはじめとする 7～8 世紀の仏像や、聖徳太子像、聖徳太子絵伝など太子信仰により制作された鎌倉時代を中心とする彫刻・絵画の代表作を展示し、仏教を通して聖徳太子が目指した平和がどのようなかたちで伝えられ、全国的な太子信仰へと広がっていったかを辿る内容であった。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	講演会① 「和の精神と日本文化」	4月19日	大野玄妙氏 (法隆寺管長)	183人
2	講演会② 「聖徳太子絵伝と太子説話」	5月18日	菊竹淳一氏 (九州大学名誉教授)	210人

## ② 大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術 きらめきの大名道具

（担当：中山運営部長・鬼本主任学芸主事・神保学芸員）

江戸時代に筑前藩主であった黒田家から福岡市美術館に寄贈された多くの美術作品から、「きらめきの大名道具」をテーマに 100 点を展示。作品は、重要文化財を含む絵画、

書籍、工芸の各分野からきらびやかな名品を中心に、当館所蔵の黒田資料を特別展として初めて一挙に公開した。

また、同時期に福岡市博物館で開催された「2014年 NHK 大河ドラマ特別展 軍師官兵衛」展と共に、大河ドラマで注目が集まる黒田官兵衛ゆかりの地・福岡を盛り上げる展覧会であった。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	講演会 「きらめきの大名道具」	9月7日	中山運営部長	100人
2	ギャラリートーク① 《入門編》	9月6日	神保学芸員	45人
3	ギャラリートーク② 《上級編》	9月13日	中山運営部長	35人

③ 更紗の時代（担当：岩永学芸係長・正路学芸員）

インド亜大陸を発祥の地とする更紗は、木綿という高機能であるが染色の難しい素材に、媒染剤を用いて鮮烈かつ堅牢な赤色の染色を可能にした技術により、古くはインド洋海域で、さらに大航海時代以降は世界中で求められたグローバルな貿易アイテムとして君臨してきた。日本でも、更紗は長く愛好され、日本の文化の一部とみなされるまでになっている。本展では、日本からの視点を軸に、世界中が更紗を求め、美意識を共有し、交流した約500年にわたる時代をたどることを試みた。

作品点数や質、時間、空間の広がり を考慮すると、国内の更紗展としては過去最大級となり、「今後の更紗研究の見取り図としての位置付け」との評を得た。

〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師等	参加者数
1	プレワークショップ① 《着てみよう！アフリカの布 「カンガ」》	8月24日	織本知英子氏 (カンガ研究家)	25人
2	講演会① 「大航海時代の渡来」	10月11日	梶谷宣子氏 (メトロポリタン 美術館名誉会員)	97人
3	講演会② 「更紗の時代とはなにか」	10月19日	岩永学芸係長	48人

4	遠州流茶道福岡支部 呈茶席	10月11日 12日 13日 11月15日 16日	遠州流茶道 福岡支部	—
5	ワークショップ② 《着てみよう！アフリカの布 「カンガ」》	10月26日	織本知英子氏 (カンガ研究家)	29人
6	ギャラリートーク	11月1日 16日	岩永学芸係長 正路学芸員	各回 約40人
7	協力企画 「更紗の時代」特別企画 in 福岡パルコ！	10月2日～ 10月15日	当展覧会の開会に 先駆けて、福岡パ ルコ1階の特設会 場でその見どころ を展示。	—

#### ④ 成田亨 美術／特撮／怪獣（担当：山口主任学芸主事）

成田亨（とおる）（1929-2002）は、武蔵野美大出身の彫刻家だが、「ゴジラ」の撮影現場を手伝ったことをきっかけに特撮美術の世界に足を踏み入れ、初期のウルトラシリーズ（ウルトラQ、ウルトラマン、ウルトラセブン）で超人、宇宙人、怪獣などのデザインを手がけた。特撮技術についても様々な功績を残しており、キャラクターデザインだけでなく、特撮映像の世界においてもその影響力は絶大であった。しかしそうした功績がありながらも、自らの芸術家としてのアイデンティティとのギャップは最後まで解消されることはなかった。日本における「美術」のありようを考えさせてくれる希有な存在である。本展では、青森県立美術館所蔵のウルトラシリーズのデザイン原画の他、未発表の画稿や、あまり知られていない絵画や彫刻も展示し、成田亨の創作の全貌を700点もの作品で回顧した。

##### 〈関連企画〉

	事業名	開催日	講師	参加者数
1	講演会①	1月6日	成田流里氏 (成田亨夫人) 成田カイリ氏 (俳優・成田亨子息)	92人
2	講演会②	1月17日	榎木野衣氏 (美術批評家, 多 摩美術大学教授)	84人

3	講演会③ 「芸術家の誕生までの不思議ー 成田亨の場合」	1月31日	村上隆氏 (アーティスト)	240人
4	「星人の日」特撮ワークショップ	1月10日	黒岩俊哉氏 (九州産業大学教授)	10人
5	ややマニアックな？ギャラリー トーク	1月10日 2月7日	山口主任学芸主事	各回 約70人

## (2) 常設企画展

	展覧会名	開催期間	開催日数	出品点数	観覧者数	備考
①	鈴木貴博 生きろ 美術館展	8月6日～ 10月26日	72日	120点	15,432人	【協力】 福岡市立元岡中学校美術部, 福岡市立東住吉小学校, 福岡県立玄洋高等学校

### ① 鈴木貴博 生きろ美術館展（担当：山口主任学芸主事）

鈴木貴博は、1990年代から世界各国を歩き様々な場所で「生きろ」の文字を書くパフォーマンスを続けている。「生きろ」と書かれた紙やノートは、まさに彼の「生」の痕跡だが、鈴木は多くの行き交う場所でパフォーマンスを行っている。ただ文字を書くだけの行為を多くの人が目撃し、そこに作家との出会い、語らいが生まれ、時に観客もそこに参加する。

一方で、元々画家であった鈴木は、最近再び「絵画」を制作している。その内容は、西洋絵画のパロディから、動物や植物を描いたもので多岐にわたる。乱雑に書き連ねられる「生きろ」と、熟練の技法で描かれる「絵画」は、鈴木貴博という美術家の両極を示している。この両極を同時に紹介する方法として、本展では、鈴木貴博本人による1か月間（8月6日～9月7日）の滞在・公開制作を、会場内で行い、美術作家の姿をライブに伝えた。

〈関連企画〉

	事業名	開催期間	講師	参加者数
1	プレワークショップ （生きるTシャツ を作る）	6月16日 17日	鈴木貴博 (6/16)福岡市立元岡中学校, 福岡県立玄洋高等学校 (6/17)福岡市立東住吉小学校	—
2	作家の滞在制作	8月6日～ 9月7日	鈴木貴博	—
3	ワークショップ① 「生きるTシャツ を作ろう」	8月9日	鈴木貴博	26人
4	ワークショップ② 「自己発見ア ート」	8月10日	鈴木貴博	21人
5	映像作品「砂漠の 水」上映会	8月22日 29日 30日	鈴木貴博	20人
6	アーティスト トーク	8月30日	鈴木貴博	28人

(3) 常設展

① 近現代美術

\* ( ) 内は担当学芸員

展覧会名	開催場所	期間	内容
世界・日本・九州の 美術 —20 世紀か ら 21 世紀へ (吉田学芸員)	近現代 美術室	6月10日～ 平成27年6月7日	当館の代表的な所蔵作品を年 代別テーマ別に展示。
うまい絵 —おしながき— (渡抜学芸員)	日本画 工芸室	4月1日～ 6月1日	作家を料理人に例え“食”にち なんだ日本画, 洋画などを展 示。
告発する美術 1 池田龍雄 (正路学芸員)	小作品室		佐賀県出身の画家・池田龍雄 (1928年生)が1953-61年に池 田が描いたペン画23点を展示。

桜井孝身／オチ・オサム／石橋泰幸 —九州派黎明期を支えた3人の画家 (山口主任学芸主事)	企画 展示室	4月1日～ 6月1日	1957年結成の前衛グループ「九州派」の画家のうち、桜井孝身(1928年生)、オチ・オサム(1936-2015)、石橋泰幸(1930-2001)の作品を展示。
水上泰生 —花鳥のいろどり— (渡抜学芸員)	日本画 工芸室	6月10日～ 8月3日	福岡市出身の日本画家、水上泰生(1882-1951)の主要作品を展示。
新収蔵品展 —福岡の美術(1970年以降)を中心に— (正路学芸員)	小作品室 企画 展示室		2013年度に当館が新たに収蔵した近現代美術作品を紹介。「福岡現代美術クロニクル1970-2000」を契機に収蔵した作品が中心。
トリックスターを捕まえろ! (吉田学芸員)	日本画 工芸室	8月5日～ 10月26日	道化や鬼など「トリックスター」が現れる古美術・近現代美術の作品を展示。
告発する美術2 ジョージ・グロスと オットー・ディックス (正路学芸員)	小作品室		ドイツの画家グロス(1893-1959)とディックス(1891-1969)の版画集を展示。
夢見る植物園 (鬼本主任学芸主事)	日本画 工芸室	10月28日～ 平成27年1月12日	植物を表わした作品を、自然史的視点と美術的視点双方から紹介。
版画って何? (渡抜学芸員)	小作品室		銅版やシルクスクリーン、木版等多様な版画の技法を通じて作品の魅力を紹介。
画／布 (吉田学芸員)	企画 展示室		イメージ＝「画」の背後にある支持体＝「布」の存在を改めて認識し「絵画」を捉え直そうとする作品を展示。
1936年—博多築港 記念大博覧会の頃 (吉田学芸員)	日本画 工芸室	平成27年1月14日 ～4月12日	1936(昭和11)年の博多築港記念大博覧会にちなんだ美術作品や関連資料を展示し、この時代の福岡を振り返る。
OYAZI展 (土橋囑託学芸員)	小作品室		所蔵作品に現れる今こそ脚光を浴びるべく待ち構えている「オヤジ」のイメージを特集。
キロクとキオク (正路学芸員)	企画 展示室		手の痕跡、時代を象徴する素材の使用、時間の堆積等、美術作品の生成において不可欠なこれらの要素を「記録」と「記憶」という観点から捉える。

## ② 古美術

\* ( ) 内は担当学芸員

展覧会名	開催場所	期間	内容
東光院の仏教美術 (後藤学芸員)	東光院仏教美術室	4月1日～ 平成27年4月12日	旧福岡藩主黒田家の菩提寺のひとつであった薬王蜜寺東光院から寄贈された重要文化財を含む仏像を常時展示。木造薬師如来立像(平安時代)など。
岩佐又兵衛 36×2 ふた組の「三十六歌仙絵」一挙公開 (中山運営部長)	古美術企画展示室	4月1日～ 6月1日	又兵衛最初期の傑作(当館蔵)と、晩年の異色作(若宮八幡宮寄託)、ふた組の「三十六歌仙人絵」を同時に一挙公開。
法隆寺と古刹の美術 (後藤学芸員)	松永記念館室		法隆寺をはじめ、奈良・京都の古刹から伝来したことが明らかでない仏画・仏具など。
新収蔵品展 (後藤学芸員)	古美術企画展示室	6月10日～ 10月5日	ガンダーラ仏、インダス文明期の土器、仙厓画など。
田中丸コレクション (後藤学芸員)		6月10日～ 11月30日	九州の主要な窯を網羅する近世陶器の名品を展示。
耳庵と茶道具展 戦前の収集品を探る (岩永学芸係長)	松永記念館室	6月10日～ 8月3日	当館の松永コレクションから、戦前に収集されたものを中心に展示。
陶磁・工芸の名品 (後藤学芸員)	松永記念館室	8月5日～ 10月5日	日本、朝鮮半島、中国の陶磁、金工品、漆工の名品を厳選。
館蔵 東南アジア美術展 (後藤学芸員)	古美術企画展示室	10月7日～ 11月30日	サワンカローク陶磁、パガン埴仏、バティックを中心に展示。
雪月花の美 (岩永学芸係長)	松永記念館室		伝・俵屋宗達筆「月に竹藪図屏風」など、雪、月、花を題材にした名品を展示。
福の神 大集合！ (後藤学芸員)	古美術企画展示室	12月2日～ 平成27年2月1日	絵画や工芸に描かれ象られた、七福神をはじめとする神々の姿を紹介。
冬のおとなミュージアム「LOVE/愛」 いにしへの恋バナ (岩永学芸係長)	古美術企画展示室	平成27年2月3日 ～4月12日	和歌や「源氏物語」、「伊勢物語」などを題材にした恋愛にまつわる古美術作品を展示。

茶の湯交遊録 仰木魯堂・政斎と松 永安左エ門 (岩永学芸係長)	古美術企 画展示室	平成 27 年 2 月 3 日 ～4 月 12 日	松永コレクションの中から、魯 堂、政斎ゆかりの作品を中心に 展示。
伝・源実朝筆 日課 観音図をめぐって (岩永学芸係長)	松永記念 館室	平成 27 年 2 月 3 日 ～4 月 12 日	江戸琳派の絵師・酒井抱一旧蔵 の本図を中心に、松永コレクシ ョン や、その他の館蔵品から 琳派の作品ほかを展示。
涅槃図公開 (後藤学芸員)	東光院仏 教美術室	平成 27 年 1 月 6 日 ～4 月 12 日	仏涅槃図をはじめとする東光 院の仏画を数点、コーナー展示 にて紹介。

#### (4) 公募展

第 49 回福岡市美術展 平成 27 年 3 月 10 日～3 月 22 日

- ・出品点数 1,192 点，入賞入選点数 678 点，入場者数 5,070 人
- ・毎年開催する福岡市民を中心とする公募展
- ・入選作品を前期，後期に分けて展示
- ・日本画，洋画，彫刻，工芸，書，写真，デザインの 7 部門について一般公募
- ・審査員によるギャラリートーク（解説，講評）を実施

#### (5) 展覧会の観覧者状況

(単位：人)

区 分	常設展	特別企画展		貸会場展		合 計	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数
25 年度	(209)		(180)		(250)		(1,126)
	47,502	2	16,376	127	191,766	129	255,644
26 年度	(213)		(410)		(201)		(1,127)
	65,290	4	54,494	201	225,215	186	344,999
過去 10 年 間の平均	(248)		(1,036)		(249)		(1,667)
	73,897	4	145,736	187	277,249	190	496,883

開館以来	(265)		(1,238)		(371)		(2,166)
累計	2,829,304	121	4,645,252	6,656	15,619,074	6,777	23,106,697

※ ( ) は、常設展・特別企画展・貸会場展は開催日 1 日あたり、

合計は開館日 1 日あたりの観覧者数

※平成 25 年 7 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日の間は収蔵庫整備工事のため休館



## 2 美術品の収集

### (1) 新規収集

#### ① 購入

なし

#### ② 寄贈

##### (ア) 近現代美術 26点 (油彩, 日本画, 水彩, 映像)

平成 26 年度に開催した「上田宇三郎展」, 九州派関連の寄贈作品。大牟田の安武氏から, 近現代および古美術の収集品の寄贈。鈴木淳作品は, 当館で初の「映像」カテゴリーの作品となる。

- ・主な作品：レオナルド・フジタ「栗色の髪の女」  
岡田三郎助「夏ノばら」  
上田宇三郎「あじさい」他 6 点  
小幡英資「さざれ石の・考 2」他 2 点  
大黒愛子 (水彩画) 8 点  
田部光子「たった一つの実在を求めて」他 1 点  
小谷修一「相聞或いは挽歌 A' .B' (A' )」他 1 点  
今長谷巖「親類の家」  
鈴木淳「だけなんなん 001-049」 など

##### (イ) 古美術 62 件 (陶磁, 漆工, 染織, 資料)

本年も多数の寄贈品を受けることができた。近世の有田焼を中心とする質の高い陶磁・漆工品計 20 件は, 当館の九州古陶磁コレクションにおいては比較的手薄の感があった磁器の分野を豊かに充填するものである。諸氏からのカンガ, ワックスプリントハンガー見本といった珍しい染織品の寄贈は, 特別展「更紗の時代」展の開催実績にかかるものであった。

- ・主な作品：伊万里焼 色絵牡丹唐花文鉢 (江戸時代) など 20 件  
カンガ 11 件  
ワックスプリントハンガー見本 15 件  
フリスコ社服地 10 件  
キストゥなど 5 件

### (2) 福岡市文化芸術振興財団からの買戻し (購入)

- ・写真 安齊重男「川俣正, アパートメントプロジェクト「大手門・和田荘」, 福岡, 1983 年 2 月 20 日」 (29.4cm×19.5cm) 他 9 点
- ・水彩画 大浦こころ「立ち上がれ 1」 他 1 点

- ・染織「花唐草文様更紗」
- ・染織「円文繋ぎ文様更紗」

### 3 教育普及事業

#### (1) 夏休み子ども美術館 2014「なにがみえる？ どうみえる？」(担当: 土橋囑託学芸員)

1990年以來ほぼ毎年テーマを設けて開催している子ども向け企画。平成26年度は、「なにがみえる？ どうみえる？」をテーマに、常設展示全体を使い、鑑賞ツールとワークシートを使用した鑑賞活動をしてもらった。その他、ボランティアによるギャラリートークや、キッズコーナーでのパズルなど、いつ来ても誰でもが楽しめる企画をめざした。

〈実施内容〉

	事業名	開催期間	開催日数	内容	参加者数
1	アート特別調査員	7月23日～ 8月31日	35日	貸出用鑑賞ツールとワークシートを使った鑑賞活動	703人
2	ギャラリートツアー for キッズ	7月23日～ 8月31日	35日	ボランティアによる子ども向けギャラリートーク	195人
3	キッズコーナーで 遊ぼう♪	7月23日～ 8月31日 (平日のみ)	23日	未就学児童のために所蔵品のパズルなどを用意	386人

#### (2) 夢見る植物園 (担当: 鬼本主任学芸主事)

平成26年度は、前年の動物園との連携に引き続き、実験的な教育普及活動として、市植物園と連携した企画「夢見る植物園」を実施した。展覧会においては、植物の描かれた所蔵作品について、植物園職員が語った内容と、美術館学芸員が語る内容とを、2つのキャプションで示し、鑑賞者が多様な見方ができるように工夫した。また、作品を見てから、街中や植物園の実際の植物を鑑賞するというプログラムも開催した。

〈実施内容〉

	事業名	開催期間	開催日数	講師	参加者数
1	「夢見る植物園」 展覧会	10月28日～ 平成27年1月12日	60日	—	—
2	秋のみちくさんぽ	11月9日	1日	藤間計公氏ほか	10人
3	植物で屏風を作ろう！	11月29日	1日	鬼本主任学芸主事 ほか	9人

### (3) こどもアートアドベンチャー

子どもたちと美術・美術館とのよりよい出会いの場を提供することを目的に、平成9年から展開している市内の小・中学校を対象とした教育普及活動。現在は、主に展示室でのボランティアによる対話型ギャラリートーク、スクールツアーを実施している。

\* ( ) 内は市内の内数

種別	件数	学生	引率
大学	2件 (1)	153人 (70)	2人 (1)
高校	4件 (1)	300人 (166)	16人 (7)
中学校	14件 (9)	1,356人 (1,007)	82人 (61)
小学校	26件 (19)	2,064人 (1,610)	103人 (74)
未就学	2件 (2)	97人 (97)	9人 (9)
計	48件 (32)	3,970人 (2,950)	212人 (152)

### (4) 講座

#### ① つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について講座を行った。

〈実施内容〉

開催日	テーマ	担当	参加者数
4月26日	又兵衛の歌仙絵 伝来の謎を解く	中山運営部長	34人
5月24日	所蔵品でたどる20世紀の美術	山口主任学芸 主事	34人
6月21日	ガイドブックにのっていないミュージアム：イギリス編	神保学芸員	34人
7月26日	十代藩主黒田斉清(なりきよ)と殿様生物学	錦織館長	12人
8月23日	油彩画の修復 藤森静雄《自画像》を中心に	渡抜学芸員	12人
9月20日	教育者としての岡田三郎助と周囲の人たち	土橋囑託学芸員	11人
10月25日	芦屋釜下絵図巻と土佐光信	中山運営部長	17人
11月15日	館蔵 東南アジア美術館を10倍楽しむために	後藤学芸員	13人

12月20日	アートと植物は相性がいい？～「夢見る植物園」を中心に	鬼本主任学芸主事	23人
1月24日	1936年ー博多築港記念大博覧会の頃ー	吉田学芸員	21人
2月21日	伝・源実朝筆 日課観音図をめぐる	岩永学芸係長	26人
3月28日	美術とフェミニズム	正路学芸員	23人

いずれも土曜日、14:00～15:30 教養講座室にて実施。

## ② いきヨウヨウ講座

60歳以上を対象としたシニア向け講座で、これまであまり美術館が対象としてこなかったこの世代に、美術および美術館に対して造詣を深めてもらい、心の充実感を実感してもらう美術教育活動。平成26年度からシリーズ化した。

第2回 「色と音とかたち」

講師：ギャレット三宅囑託員

開催日：平成27年3月14日

参加者：16名

## (5) ファミリーDAY

平成25年度より新規に実施している教育プログラム。若い世代のファミリーに向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、開館記念日を含む3日間をファミリーDAYとし、館内のあちこちで同時にワークショップなどを実施した。なお、実施に当たっては、博物館実習生および当館ボランティアがスタッフとして活動した。

【開催期間】11月1日（土）～3日（月・祝）10:00～15:00

【参加者数】延べ833人

〈実施内容〉

	事業名	開催日	講師	内容
1	ミニミニワークショップ	期間中毎日	オーギカナエ氏 (アーティスト)	未就学児童を対象としたワークショップ。
2	ぬってみよう！ どんな色？	期間中毎日	—	当館の作品を対象とした塗り絵。
3	キミは名探偵！ 美術館の謎をときあかせ	期間中毎日	—	ワークシートを使った作品鑑賞トレイル。

4	色とかたちで秋をえがこう！	11月1日	瀬戸口朗子氏 (アーティスト)	植物をモチーフとした作品を鑑賞後、講師のレクチャーを聞き、作品を制作。
5	絵からとびだす物語	11月2日	ボランティア	作品を見ながら、物語をつくり、演劇仕立てで発表。当館ボランティアが企画。小学3年生以上対象。
6	秋の植物で作品をつくろう！	11月3日	神保学芸員	植物をモチーフとした作品を鑑賞後、大濠公園の落ち葉などを拾って、それらで作品を制作。

#### (6) ボランティア活動

当館では、平成26年3月末時点で133人のボランティアが登録し、「新聞情報」、  
「図書整理」、「美術家情報整理」、「ギャラリーガイド」の4つのグループに分かれて、週1回程度、美術館で活動をしている。なお、平成26年度は、新たにボランティアを募集し、研修を行った。

##### ①活動内容

	事業名	人数	内容	担当
1	新聞情報 ボランティア	43人	新聞掲載の美術関連記事の切り抜き、ファイル作業など	岩永学芸係長
2	図書整理 ボランティア	21人	美術館蔵書の整理、データ入力など	中務嘱託司書
3	美術家情報整理 ボランティア	12人	美術館に届く展覧会案内状の分類、整理、データ入力など	吉田学芸員
4	ギャラリーガイド ボランティア	57人	一般来館者・学校団体への常設展示作品の紹介	教育普及係

##### ②共通活動

- ・夏休み子ども美術館およびファミリーDAYのサポート
- ・館外見学研修（6月8日）北九州市立いのちの旅博物館、直方谷尾美術館

③新規ボランティア募集

- ・募集期間：8月1日～25日
- ・応募人数：117人
- ・全体研修期間：10月12日～12月24日（全10回の講義を各2回実施）
- ・グループ研修期間：平成27年1月6日～3月17日（各グループ3～8回の実地研修を実施）

4 第5回福岡ミュージアムウィーク

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知ってもらうために制定された「国際博物館の日」（5月18日）を記念して、福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡県立美術館等10施設が連携し、様々なイベントを通じて「出会いの場」、「知識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールした。

【開催期間】5月17日～25日（9日間）

(1) 共通事業

- ①期間中の常設展観覧料無料
- ②スタンプラリー

(2) 福岡市美術館事業

	事業名	開催期間	講師	参加者数
1	講演会	5月17日	山下裕二 (明治学院大学教授)	170人
2	染めワークショップ	5月18日	日比野克彦氏 (東京藝術大学教授)	60人
3	キッズコーナー ミニミニワークショ ップ	5月20日～ 23日	オーギカナエ (アーティスト)	136人
4	建築ツアー	5月24日 25日	山下主査 (美術館大規模改修担当) 鬼本主任学芸主事	35人
5	つきなみ講座	5月24日	山口主任学芸主事	34人
6	ハイライト ツアー	5月17日～ 25日 (休館日を除く)	ボランティア	120人
7	けやき通り音楽祭 2014「展覧会の絵」 の音楽会	5月24日 25日	—	300人

## 5 読書室

読書室では、美術に関する書籍や全集、こども向けの美術書など約 3000 冊、国内外の美術雑誌を 30 数種類配架し、また当館開催の特別展・常設展に関する資料の特集を常時行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

平成 26 年度利用者数：5,600 人（開館日数 306 日、一日平均利用者数 18 人）

## 6 紀要

職員の研究成果を発表、蓄積することを目的に『福岡市美術館紀要第 3 号』を発行した。

〈執筆内容〉

	内 容	執筆者
1	【報告書】藤森静雄《自画像》調査・保存修復報告 —画家が描いた二つの自画像—	渡抜学芸員
2	調査報告：ミュージアムにおけるキャプションの役割について	神保学芸員
3	夏休みこども美術館 2014 における新たな試み	土橋囑託学芸員
4	研究ノート 田部光子研究の現在と《プラカード》（1961 年）について	正路学芸員
5	隠されたコレクション—中山森彦旧蔵品調査の経過報告として—	吉田学芸員

平成26年度主な展覧会の開催状況 (3月末現在)

番号	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
1	第81回独立福岡展	特A, B	4/1~4/6	1,481	独立美術協会, 西日本新聞社
2	日本水彩久留米支部展	特B	4/8~4/13	963	日本水彩久留米支部
3	福井書塾発表会	特B	4/15~4/20	641	福井書塾
4	法隆寺展	特A	4/19~6/1	24,228	法隆寺展実行委員会, 読売新聞社
5	福岡読売写真クラブ第六回写真展	特B	4/22~4/27	1,054	福岡読売写真クラブ
6	小谷修一画歴遺作展	特B	4/29~5/6	2,180	小谷壽子
7	島崎光写真展	特B	5/8~5/11	698	島崎創造保育研究会
8	阿部絵画教室 彩女会	特B	5/13~5/18	1,362	彩女会, 一般財団法人阿部美術振興財団
9	第2回CAF展	特B	5/20~5/25	1,571	グループCAF
10	野田勲 回顧展	特B	5/27~6/1	2,363	野田勲
11	「華フォー」展	特B	6/3~6/8	425	華フォー
12	第110回太平洋展 第49回西日本展	特A, B	6/10~6/15	3,945	太平洋美術会西日本支部, 西日本新聞社
13	第45回日展	特A, B他	6/21~7~13	19,581	西日本新聞社, 公益社団法人日展, 福岡県, 福岡市, テレビ西日本
14	第64回モダンアート福岡展	特A	7/15~7/21	1,553	モダンアート協会福岡支部, モダンアート協会
15	平成26年景柳会書作展	特B	7/15~7/21	1,162	景柳書道学会
16	九州・山口・沖縄代表書作家展	特A	7/23~7/27	886	朝日新聞社企画事業本部西部企画事業チーム, 朝日新聞社
17	第36回福岡県独立書展	特B	7/23~7/27	742	福岡県独立書人団
18	第73回創元展 同時開催創元会西日本美術展	特A, B	7/29~8/3	3,371	創元会福岡支部, 創元会, 西日本新聞社
19	第28回 日洋展 九州会場福岡	特A	8/5~8/10	1,691	一般社団法人日洋会, 西日本新聞社, テレビ西日本
20	第34回グループ青彫刻展	特B	8/5~8/10	485	グループ青
21	第38回毎日女流書展	特A	8/12~8/17	1,276	毎日新聞西部本社, 毎日新聞社, 西部毎日書道会
22	田中秀幸個展	特B	8/12~8/17	947	田中秀幸
23	第67回示現会展 第3回示現会福岡支部公募展	特A, B	8/19~8/24	5,927	一般社団法人示現会, 西日本新聞社
24	元典利パフォーミングス/インスタレーション展	特B	8/26~8/31	258	元典利
25	大河ドラマ軍師官兵衛記念 黒田家の美術	特A	9/2~9/28	10,210	黒田家の美術実行委員会, NHK福岡放送局, 西日本新聞社
26	「直観」ジオラマ」~九州・沖縄アーティスト・フェア/断章	特B	9/4~9/28	3,674	F u k u o k a A r t T i p s
27	山本喜代子染めの世界ニューヨーク韓国記念展	特B	10/7~10/13	888	山本喜代子, 「染色」運営実行委員会
28	更紗の時代	特A	10/11~11/24	8,372	更紗の時代実行委員会, 九州朝日放送, 朝日新聞社
29	慎思会書作展	特B	10/15~10/19	1,304	慎思会
30	アソビバ	特B	10/21~10/26	739	アソビバ制作委員会
31	第19回福岡市美術連盟会員展	特B他	10/28~11/3	1,456	福岡市美術連盟, 公益財団法人福岡文化財団
32	第46回九州かな書道協会展	特B他	11/5~11/9	659	九州かな書道協会
33	福岡・フォトフェスティバル2014 韓国交流写真展	特B	11/11~11/16	1,013	フォトフェスティバル実行委員会, PHOTO GUIDE編集部



平成26年度主な展覧会の開催状況（3月末現在）

福岡市美術館

番号	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
34	福岡市東区美術協会会員展	特B	11/18～11/24	1,366	福岡市東区美術協会
35	第24回ぐるーぶ”街”風景画展	特B	11/26～11/30	641	ぐるーぶ”街”
36	第66回毎日書道展九州展	特A, B	12/2～12/7	2,824	毎日新聞西部本社, 毎日新聞社, 財団法人毎日書道会
37	第69回行動展	特A, B	12/9～12/14	1,225	行動美術協会, 西日本新聞社
38	第40回西日本書美術展 第40回記念展	特A, B他	12/16～12/21	3,373	西日本書美術協会, 西日本新聞社
39	西日本新聞書道之友展2014	特A	12/23～12/27	2,418	(株)西日本新聞イベントサービス, 西日本新聞社, 西日本新聞書道会
40	四季瞬景 第13回	特B	12/23～12/27	1,071	日本風景写真協会福岡第一支部
41	成田亨 美術/特撮/怪獣	特A	1/6～2/11	11,684	成田亨実行委員会, 西日本新聞社, TVQ九州放送
42	第50回全九州新春書道展	特B	1/6～1/12	1,324	福岡書道会
43	中村洋一 革ペンスケッチ30周年記念展	特B	1/14～1/18	1,347	中村洋一
44	第63回福岡市中学校書道展	特B	1/20～1/25	1,018	福岡市中学校文化連盟国語専門部, 福岡市中学校連盟
45	第28回蘭亭書道展	特B他	1/27～2/1	3,146	(株)朝日カルチャーセンター, 朝日新聞社, 九州朝日放送
46	九州産業大学芸術学部・芸術研究科卒業制作秀作展	特B他	2/3～2/8	2,180	九州産業大学芸術学部
47	フアインアート展	特B	2/10～2/15	1,427	福岡市中学校特別支援学級
48	第99回二科福岡展	特A, B他	2/17～2/22	4,716	二科福岡支部, 公益社団法人二科会, 西日本新聞社
49	第68回二科展福岡巡回展	特A, B	2/24～3/1	3,378	一般社団法人二科会, 西日本新聞社
50	第82回独立福岡展	特A, B	3/3～3/8	1,929	独立美術協会, 西日本新聞社
51	第49回福岡市美術展	特A, B他	3/10～3/22	5,070	福岡市美術展運営委員会, 福岡市, 福岡市教育委員会
合計				157,242	

## 福岡アジア美術館平成26年度事業報告について

## 1 展覧会の開催

## (1) 特別企画展

	展覧会名	会期	開催日数	出品点数	観覧者数	共催
①	おいでよ！ 絵本ミュージアム2014	7月25日～ 8月17日	24日	—	42,019人	西日本新聞社 テレビ西日本 NPO法人子ども文化コミュニティ
②	第5回福岡アジア美術 トリエンナーレ2014	9月6日～ 11月30日	74日	122点	19,896人	西日本新聞社 TVQ九州放送

## ① おいでよ！絵本ミュージアム2014（担当：ラワンチャイクン収集展示係長）

福岡の夏の定番企画「おいでよ！絵本ミュージアム」シリーズの第8回目。ファンタジー絵本や古今東西の民話や昔話を中心に「時空の旅」をテーマに開催。毎年異なる大胆なデザインの空間に絵本1000冊と原画を並べ、彫刻ラウンジやホールなどではワークショップやイベントを展開した。

## ② 第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014（担当：中尾学芸員）

ダイナミックに変化するアジアの最新美術動向を紹介する国際美術展「福岡トリエンナーレ」の第5回目を開催。開館15周年を記念する本展では、「未来世界のパノラマ」のテーマのもとに、アジア21カ国・地域から36人・組の美術作家を厳選して紹介した。会期中には、参加作家による多彩な交流プログラム（滞在制作、ワークショップ、トークなど）をおこなったほか、特別部門として「モンゴル画の新時代」を開催した。（交流プログラム数：122）

## (2) 常設企画展

	展覧会名	会期	開催日数	出品点数
①	モンゴル画の新時代	9月6日～ 11月30日	74日	25点

## ① モンゴル画の新時代（担当：山木学芸員）

第5回福岡トリエンナーレの特別部門として、近年、現代的・都市的な主題によって大きく変容しつつある、モンゴルの伝統絵画「モンゴル画」を、若手作家10人の作品25点で紹介した。

(3) 常設展

カウントダウン、FT5！ —福岡トリエンナーレってなに？ 担当：ラワンチャイクン収集展示係長，中尾学芸員，五十嵐学芸員，柏尾囑託員	4月3日（木）～ 8月19日（火） (※FT1, 2は4/3-6/3、 FT3, 4は6/5-8/19)	「第5回福岡トリエンナーレ（FT5）」に向けて、第1回展（FT1、1999年）から第4回展（FT4、2009年）までを、各回を印象づけた作品を中心に、展示風景やパフォーマンスの記録などと一緒に紹介した。出品数26点。
金属ぞくぞく大集合！ 担当：中尾学芸員	4月24日（木）～ 8月19日（火）	人類の歴史の中でも金属の普及は、私たちの生活スタイルを飛躍的に変革させた。本展では、鉄、ブロンズ、ステンレスなど、金属を素材にした作品21点を展示した。
声なきVoice 担当：柏尾囑託員	12月11日（木）～ 平成27年3月24日（火）	F. X. ハルソノ（インドネシア）の指文字を使った「声なき声」など、声をテーマにした作品を通して、社会的な対話のもどかしさにスポットをあてた。出品数15点。
冬のおとなミュージアム 「LOVE」—女神のささやき 担当：五十嵐学芸員	12月11日（木）～ 平成27年2月24日（火）	三館連携の初の企画。アジアの女神のイメージを集めて展示。若く美しい女神から恐ろしい顔をした女神、ピンナップ・ポスターの中の女神まで出品数31点。
わたしの村をめぐる物語 担当：ラワンチャイクン収集展示係長	平成27年2月26日（木）～ 5月12日（火）	日常の暮らしのほか、村のかかえる社会問題、アイデンティティの拠り所としての故郷のイメージなど、作家の眼を通して描かれた村に着目。出品数12点。

(4) 展覧会の観覧者状況

(単位：展，件，人)

区分	常設展	特別企画展		貸会場展		合計		あじびホール	
		展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	展覧会数	観覧者数	件数	入場者数
25年度	(175) 54,509	3	(1,450) 204,388	77	(170) 84,587	80	(1,104) 343,484	134	13,183
26年度	(184) 39,412	2	(632) 61,915	47	(369) 141,305	49	(842) 242,632	113	9,698
過去10年 間の平均	(173) 49,240	3	(734) 87,318	63	(258) 114,394	66	(828) 250,952	119	11,192
開館以来 集計	(170) 768,901	50	(711) 1,455,378	855	(264) 1,694,090	905	(813) 3,918,369	1,693	162,526

\* ( ) は、常設展・特別企画展・貸会場展は開催日1日あたり，合計は開館日1日あたりの観覧者数

## 2 美術交流事業

### (1) 美術作家招聘事業

#### ① ミン・ティエン・ソン（ミャンマー） 滞在期間：7月3日～9月8日

##### 主な活動内容

- ・作品制作：子どもの頃に遊んだおもちゃを、布を使って大きく拡大させたインスタレーション《異界（馬）》の再構成と、《異界（戦車）》を制作した。
- ・ワークショップ：「ミャンマーのアーティストとおもちゃを作ろう！」  
（春日ふれあい文化センター 夏休みこどもアートバスツアー）  
春日市の小学校4～6年生30人、交流スタジオ（7/31）
- ・トーク：「開幕間近！FT5よもやまプレトーク②」  
一般63人、あじびホール（7/26）  
アーティスト・トーク  
一般75人、企画ギャラリー、アジアギャラリー（9/7）

#### ② メヘリン・ムルターザ（パキスタン） 滞在期間：8月6日～9月9日

##### 主な活動内容

- ・作品制作：直径2.4mのFRP製の球体から詠唱を発するインスタレーション「深宇宙天体」を地元の大学の教官や学生たちの協力を得て制作した。
- ・トーク：「開幕間近！FT5よもやまプレトーク③」  
一般60人、あじびホール（8/23）  
アーティスト・トーク&詠唱パフォーマンス《口伝え》  
一般75人、8階ロビー、アジアギャラリー（9/6）

#### ③ ペマ・ツェリン（ブータン） 滞在期間：9月11日～10月20日

##### 主な活動内容

- ・作品制作：自身が書きおこした原作をもとに、福岡のマンガ家と共同でマンガ本「Lama」をフルデジタルで制作した。また、博多リバレイン灯明で地上絵を制作した。
- ・ワークショップ：「ブータンの物語をもとにした絵画制作」  
屋形原特別支援学校小学部、中学部生徒5名、屋形原特別支援学校（9/24）
- ・トーク：アーティスト・トーク  
一般68名、あじびホール（10/19）

#### ④ ジハン・カリム（バングラデシュ） 滞在期間：9月18日～10月28日

##### 主な活動内容

- ・作品制作：糸島市で開催された「糸島国際芸術祭2014 糸島芸農」に出品するために、福岡の映像作家、牧園憲二氏と共同で屋外インスタレーションを制作した。また、「博多リバレイン灯明」で、博多川にかかる橋の下にサイトスペシフィックな映像作品を制作した。
- ・トーク：アーティスト・トーク  
一般63人、あじびホール（10/25）
- ・展覧会：「糸島国際芸術祭2014糸島芸農」  
一般392人（10/11-19）

⑤ ヤン・ヨンリァン／楊泳梁（中国） 滞在期間：9月26日～11月10日

主な活動内容

- ・作品制作：心の弱い剣士（＝現代人のメタファー）を主人公にした映像作品「悪夢」を制作。福岡市内や近郊の海岸でのロケハン、剣士役のオーディションを経て、福岡市や糸島市等で撮影した。
- ・トーク：アーティスト・トーク  
九州大学芸術工学部2年生50名、アジアギャラリー（10/16）  
アーティスト・トーク  
九州大学芸術工学部3年生50名、あじびホール（10/17）  
アーティスト・トーク  
一般52人、交流スタジオ（11/9）

⑥ コビール・アフメッド・マサム・チスティアー（バングラデシュ） 滞在期間：10月14日～11月16日

主な活動内容

- ・作品制作：小学生が描いた105枚の絵をつなげてアニメーション「昨日、私たちが一緒に見た夢」を制作した。また、映像インスタレーション「繭」を制作した。
- ・ワークショップ：「《昨日見た夢》を絵にしよう！」  
有田小学校3年生104名、あじびホール、彫刻ラウンジ（10/17）  
「《昨日私たちが一緒に見た夢》の音を創ろう！」  
千代小学校6年生39名、あじびホール（11/6）  
「過去を変える！」  
福岡教育大学付属中学校3年生124名、福岡教育大学付属中学校（11/7）
- ・トーク：アーティスト・トーク  
一般51名、あじびホール（11/15）

上記6名のほか、「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014」では下記の13名・組のアーティストも招聘し、滞在制作等の活動をおこなった。

アーティスト	国／地域	滞在期間
プリラ・タニア	インドネシア	7月30日～9月9日（42日間）
チェン・イージェ	台湾	8月4日～9月10日（38日間）
チェ・ジョンファ	韓国	8月15日～8月22日、9月4日～9月7日、9月26日（13日間）
ルー・ヤン／陸揚	中国	3月4日～3月7日、8月17日～8月20日、9月3日～9月8日（14日間）
スニール・シグデル	ネパール	8月25日～9月15日（22日間）
ローヒニー・ディヴェーシャル	インド	8月31日～9月29日（30日間）
PHUNK	シンガポール	9月4日～9月10日（7日間）
アニッタ・ユー・アリ	カンボジア	9月11日～9月30日（20日間）
菅野将弘	カンボジア	9月11日～9月30日（20日間）
プラバーカル・パーチュプター	インド	9月16日～10月6日（21日間）

キリ・ダレナ	フィリピン	9月18日～10月14日（27日間）
バドゥザグディン・ナンディン・エルデネ	モンゴル	10月29日～11月18日（21日間）
ブー・ホァ／ト権	中国	11月26日～12月1日（6日間）

## （２） 美術作家受入支援

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、制作等を行うことを希望するアジアの美術作家に対して、制作活動を支援した。

### ① ガン・チーシェン（シンガポール） 滞在期間：5月29日～6月28日

主な活動内容

・制作：シンガポール・大華銀行からの助成で来日。

絵画作品の制作ほか、体験学習で訪れた中学生にトークを行なった。

## （３） 研究者受入支援

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、調査・研究を行うことを希望するアジアの研究者に対して、調査・研究活動を支援した。

### ① チェン・ホエウエン／鄭惠文（台湾） 滞在期間：10月1日～12月1日

主な活動内容

・調査・研究：台湾現代芸術基金会からの助成で来日。

当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

## （４） 地域交流事業

### ① 「博多リバレイン灯明」（「第19回博多灯明ウォッチング2014」同時開催）

10月18日

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたペマ・ツェリン（ブータン）が参加した。数千個の灯明をつかって、仏教を守護する神鳥ガルーダとブータンの伝統的な文様を、博多リバレイン1階のフェスタスクエアに表現した。

## 3 収蔵品の収集について

### （１） 購入 バン・ジョンア

「不適応と消化不良」（絵画） 外16点

（内訳）絵画15点 映像2点

合計17点

### （２） 寄贈 ヘイダル・アリ・ジャン「抜け目なく」（映像）

外9点

（内訳）絵画7点 映像3点

合計10点

## 4 ミュージアム施策事業

### （１） 「福岡ミュージアムウィーク」

5月17日～25日

#### ① 森村泰昌トークショー

5月25日（土）

一般156人、彫刻ラウンジ

#### ② ギャラリーツアー

5月19日（月）、20日（火）、22日（木）、23日（金）

一般24人、アジアギャラリー

- ③ バックヤードツアー  
5月18日（日）、24日（土）  
一般60人、バックヤード
- ④ アジアの絵本の読み聞かせ  
5月17日（土）、18日（日）、24日（土）、25日（日）  
未就学児と保護者95人、キッズコーナー
- ⑤ ワークショップ  
5月17日（土）14:00～17:00  
講師：モハンマド・アリノミン・オムラリ（ブルネイ）  
一般18名、彫刻ラウンジ

## 5 その他

- (1) 所蔵品貸出
  - ① 「Is it what you think?」  
キランナダール美術館（インド）  
平成26年1月29日～9月30日  
1点貸出
  - ② 「郭徳俊 ニコッとシェー 1960年代絵画を中心に」  
国立国際美術館  
平成26年2月1日～5月11日  
1点貸出
  - ③ 「ア・テーブル！—ごはんだよ！食をめぐる美の饗宴—」  
三重県立美術館  
平成26年3月1日～5月6日  
1点貸出
  - ④ 「東京・ソウル・台北・長春—官展にみる近代美術」  
府中市美術館、兵庫県立美術館  
5月14日～6月8日（府中市美術館）、6月14日～7月21日（兵庫県立美術館）  
1点貸出
  - ⑤ 「お尋ね者メイ・ディンイー回顧展」  
台北市立美術館（台湾）  
5月17日～8月17日  
1点貸出
  - ⑥ 「女性一家：アジア女性作家の感覚とビジョン」  
高雄市立美術館（台湾）  
6月14日～9月23日  
5点貸出
  - ⑦ 「ヨコハマトリエンナーレ2014」  
横浜トリエンナーレ組織委員会  
8月1日～11月3日  
5点貸出
  - ⑧ 「着想の庭園—パキスタンの現代美術」  
アーガー・ハーン美術館（カナダ）

9月1日～平成27年1月18日

6点貸出

⑨ 「陳順築回顧展」

台北市立美術館（台湾）

平成27年1月24日～4月26日

3点貸出

(2) 教育普及

① スクールプログラム等による団体見学受入

小学校 14校 1277人

中学校 20校 1068人

高等学校 10校 484人

大学 41校 2068人

その他 7校 171人

② 職場体験学習等受入

中学校 10校 44人

特別支援学校 2校 2名

③ 「とびだせ！アジア美術館」

心身の疾病や障がい、保護の必要性などの理由から来館自体が困難な子どもたちを対象に、入院・通学する施設内で、ワークショップを行い、アジアの美術・文化に触れる機会を提供した。

ワークショップ「ブータンの物語をもとにした絵画作品制作」

9月24日

屋形原特別支援学校 中学部、小学部生徒5名、屋形原特別支援学校

講師：ペマ・ツェリン（ブータン）

(3) ボランティア

活動内容およびグループ別のべ人数（一人が複数のグループで活動可）（平成26年4月現在）

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	68
図書資料	図書資料の整理・修理、配架	64
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連使用の整理補助	53
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	21
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	29
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	30
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	14



交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	223
		のべ人数 502
		ボランティア登録者数 223

平成26年度展覧会の開催状況 (3月末現在)

番号	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
1	九州朝日放送創立60周年記念 「生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」	企画ギャラリーA, B, C	4/1～5/18	52,567	KBC九州朝日放送、東映
2	佐々木 俊介自選展	交流ギャラリー	4/1～4/1	73	佐々木俊介
3	江海・龍展	交流ギャラリー	4/3～4/8	725	江藤 海
4	あべいずみ絵画展	交流ギャラリー	4/10～4/15	603	阿部いずみ
5	パッチワークANNE (アン) と仲間達の作品展	交流ギャラリー	4/17～4/22	623	キルトショップANNE (アン)
6	天橋織い 針の極み・・・展	交流ギャラリー	4/24～4/29	1,017	五島亜希子
7	自閉の画家 太田宏介 ～22年の軌跡～	交流ギャラリー	5/1～5/6	2,503	九州朝日放送株式会社
8	第8回 ひと葉の会 日本画展	交流ギャラリー	5/8～5/13	725	ひと葉の会 代表 栗焼 葉子
9	台日文化芸術交流 陳世憲+張文樑 ～隣線～二人展 (書道・写真)	交流ギャラリー	5/15～5/20	608	九州台日文化交流会
10	第22回アジア美術家連盟日本委員会展	企画ギャラリーA, B, C	5/22～5/27	1,272	アジア美術家連盟日本委員会
11	Hawaiian Quilt Studio Hale U' ilani ハワイアンキルト展 in FUKUOKA 2014	交流ギャラリー	5/22～5/27	618	ハワイアンキルトスタジオ ハレ・ウイロニ
12	第14回福岡江古田会アート展	交流ギャラリー	5/29～6/3	694	日本大学芸術学部校友会 福岡県支部「福岡江古田会」
13	山本二三展	企画ギャラリーA, B, C	5/31～7/6	26,339	毎日新聞社 TVQ九州放送
14	カルチャースクール・セ・マ・フエツト展覧会～Mes tresors 私の宝物～	交流ギャラリー	6/5～6/10	611	尾崎 恵子
15	書のとさめき展'14・・・一壺会&井上一光・・・	交流ギャラリー	6/12～6/17	740	一壺会
16	躍動と振動 色の可能性二人展 廣未勝巳・原泰樹 二人展	交流ギャラリー	6/19～6/24	638	廣未勝巳・原泰樹
17	刀匠 ～天明から平成へと受け継がれる技と魂～	交流ギャラリー	6/26～7/1	1,451	田中 紀彦
18	李小澄水彩画展	交流ギャラリー	7/3～7/8	278	李小澄ギャラリー-SOLE
19	第42回 日本の書展 九州展	企画ギャラリーA, B, C	7/10～7/15	1,470	公益財団法人全国書美術振興会 西日本新聞社
20	第42回 日本の書展 九州展	交流ギャラリー	7/10～7/15	788	公益財団法人全国書美術振興会 西日本新聞社
21	九州と中国 芸術展	交流ギャラリー	7/17～7/22	453	九州華僑華人文学芸術家連合会
22	楊勇当代山水表達展	交流ギャラリー	7/24～7/29	357	“千秋藏” 芸術投資会社 徐振宇
23	おいでよ！絵本ミュージアム2014	企画ギャラリーA, B, C	7/25～8/17	42,019	福岡アジア美術館, 西日本新聞社, TNCテレビ西日本, NPO法人子ども文化コミュニケーション
24	蔚山大学校デザイン大学2014年度卒業作品優秀作品展	交流ギャラリー	7/31～8/5	204	全 聖福
25	福岡インディペンデント映画祭2014 (FIDFF2014)	交流ギャラリー	8/7～8/12	1,252	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
26	原畫絵画展	交流ギャラリー	8/14～8/19	923	公益財団法人 日本教育公務員弘済会 福岡支部
27	第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014	企画ギャラリーA, B, C	9/6～11/30	19,896	福岡アジア美術館, 西日本新聞社, TVQ九州放送
28	第2回九州国展	企画ギャラリーA, B, C	12/11～12/16	740	国画会九州支部事務所
29	深遠なる美の探求ー中国当代書画名家合同展	交流ギャラリー	12/11～12/16	350	中国中央文史館
30	～燃える書魂～ 吉田成堂の世界	企画ギャラリーA, B, C	12/18～12/23	3,547	西部毎日書道会 九州創玄書道会
31	福岡市人権尊重作品展	交流ギャラリー	12/18～12/23	257	福岡市人権尊重推進委員会
32	北斎展 ～師と弟子たち～	企画ギャラリーA, B, C	1/2～2/15	23,251	毎日新聞社
33	九州産業大学写真映像学科柴田ゼミナール写真展	交流ギャラリー	1/8～1/13	389	柴田 益夫

平成26年度展覧会の開催状況 (3月末現在)

福岡アジア美術館

番号	展覧会名	会場	会期	観覧者数	主催者
34	第13回 福岡市立高等学校合同文化発表会	交流ギャラリー	1/15～1/20	244	福岡市教育委員会 福岡市立高等学校合同文化発表会実行委員会
35	九産大 造形・彫刻コース合同作品展	交流ギャラリー	1/22～1/27	164	九産大造形・彫刻コース
36	平成26年度 博多区文化・芸術展	交流ギャラリー	1/29～2/3	559	まつりはかた実行委員会
37	KenDo Works 2014卒業展	交流ギャラリー	2/5～2/11	402	近畿大学産業理工学部建築デザイン学科
38	福岡デザイン専門学校 第17回卒業制作展+アジアデザイン交流展	交流ギャラリー	2/13～2/17	556	学校法人 双葉学園 福岡デザイン専門学校
39	2014 アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA	企画ギャラリーA, B, C	2/19～2/24	1,406	2014アジアデジタルアート大賞展実行委員会
40	九州産業大学芸術学部・大学院芸術研究科 卒業・修了制作デザイン秀作展	交流ギャラリー	2/19～2/24	679	九州産業大学芸術学部・大学院芸術研究科
41	吉本統治と採光会7人の仲間たちの写真展	企画ギャラリーA	2/26～3/3	1,086	吉本統治
42	アートスタジオ・アライヴ 鉛筆画教室作品展	企画ギャラリーB, C	2/26～3/3	1,663	アートスタジオ・アライヴ
43	博多織デベロップメントカレッジ 7期研究生・8期生 卒業作品展	交流ギャラリー	2/26～3/3	908	博多織デベロップメントカレッジ
44	イメーヅラボ写真教室 第15回作品展	企画ギャラリーA, B, C	3/5～3/10	1,204	イメーヅラボ写真教室
45	日韓女性交流写真展 2015	交流ギャラリー	3/5～3/10	524	プチフォト写真教室
46	福岡教育大学 大学院美術教育コース 修了制作展	交流ギャラリー	3/12～3/17	420	福岡教育大学美術教育講座 福岡教育大学大学院教育学部教育科学研究科教育科学専攻美術教育コース 平成26年度修了生
47	浜田島IV THE HAMADA ISLAND IV The Exhibition of Shogo Hamada by Teruhisa Tajima	企画ギャラリーA, B, C	3/13～3/31	4,866	ROAD&SKY, BEA
48	石川幸二退職記念展	交流ギャラリー	3/19～3/24	327	石川 幸二
49	THE ROOT OF LOVE～モザイクアートで笑顔を広げよう～	交流ギャラリー	3/26～3/31	231	福岡大学院大学 THE ROOT OF LOVE企画グループ
合計				203,220	

平成26年度あじびホール利用状況（3月末現在）

福岡アジア美術館

番号	催 事 名 称	開 催 月 日	入 場 者 数	主 催 者
1	イタリア映画鑑賞会	4/5	71	福岡日伊協会
2	箏・三絃・尺八 4月月例演奏会	4/20	130	福岡三曲協会
3	交流ボランティアアミーティング	4/26	50	福岡アジア美術館
4	イタリア映画鑑賞会	5/9	74	福岡日伊協会
5	博多ひとり会	5/10	74	四人の会
6	梁木さんに演劇の話を田坂が聞いてみる～「腰巻お仙」から「わが星」まで	5/11	35	九州地区舞台芸術運営協同組合
7	「ふるさと」の歴史と文化」遊学講座	5/13	80	一般財団法人 西日本文化協会
8	山本二三展 デモンストレーション	6/1	120	毎日新聞社 TVQ九州放送
9	片岡愛之助さんを囲んでお話をする会	6/14	90	絲衣司
10-17	どなたも写真コンクール	6/17 ～ 6/26	283	福岡市民の祭り振興会
18-19	第9回風景デザインワークショップ及び定期総会	6/28 ～ 6/29	180	風景デザイン研究会
20	第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014記者発表	6/30	37	福岡アジア美術館
21	交流ボランティアアミーティング/学生サポーターミーティング	7/5	92	福岡アジア美術館
22	イタリア映画鑑賞会	7/7	59	福岡日伊協会
23	コロコン映画会	7/19	300	福岡市人権啓発センター
24	ハーブコンサート	7/20	80	香月ハーブ教室
25	「ふるさと歴史と文化」遊学講座	7/22	85	一般財団法人 西日本文化協会
26	開幕間近！FT5よもやまブレストーク	7/26	63	福岡アジア美術館
27	おいでよ！絵本ミュージアム「降矢なな講演会」	7/26	95	絵本ミュージアム実行委員会
28	交流ボランティア・学生サポーターミーティング	8/2	43	交流係
29	絵本ミュージアム西巻茅子講演会	8/3	98	絵本ミュージアム実行委員会
30-36	福岡インディペンデント映画祭2014 (F I D F F 2014)	8/6 ～ 8/12	1,499	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
37-41	絵本ミュージアム「うごきだす絵本」	8/13 ～ 8/17	171	絵本ミュージアム実行委員会

平成26年度あじびホール利用状況（3月末現在）

福岡アジア美術館

番号	催事名称	開催月日	入場者数	主催者
42	FT5 よもやまプレトーク	8/23	60	福岡アジア美術館
43	福岡インディペンデント映画祭2014おかわり	9/13	96	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
44-45	バダバダ/波の少女	9/14 ~ 9/15	170	WATAGATA福岡釜山アートネットワーク
46-48	福岡インディペンデント映画祭2014おかわり	9/16 ~ 9/19	341	福岡インディペンデント映画祭実行委員会
49	アジアフォーカス・福岡国際映画祭 受賞作品上映	9/20	100	アジアフォーカス福岡国際映画祭実行委員会
50	西南大学国際文化学部	9/27	110	西南大学
51	アーティストトーク(ローヒニー・ティヴェーシヤル、アニッタ・ユウ・アリ、菅野将弘)	9/27	191	福岡アジア美術館
52	アーティストトーク (プラバーカー・バーチュエブテー)	10/4	62	福岡アジア美術館
53	アーティストトーク (キリ・ダレナ)	10/12	42	福岡アジア美術館
54	アーティストトーク (ペマツェリン)	10/19	68	福岡アジア美術館
55	アーティストトーク (ジハンカリム)	10/25	63	福岡アジア美術館
56-57	福岡市文化賞・福岡市民文化活動功労賞贈呈式	10/30 ~ 10/31	200	福岡市文化振興課
58	「きのう見た夢」の音を創ろう	11/6	39	福岡アジア美術館
59-61	国際シンポジウム「日本における美術概念の再構築」	11/7 ~ 11/9	130	科研共同研究「日本における美術概念の再構築」
62	アーティストトーク(バドゥザググディン・ナンディン・エルデネ、コペール・アフメッド・マサム、チステイ)	11/15	53	福岡アジア美術館
63	ブー・ホア アニメーション上映トーク	11/30	77	福岡アジア美術館
64	第13回中国語弁論大会	12/13	30	福岡市姉妹都市委員会・福岡市
65	第40回英語弁論大会	12/14	60	福岡市姉妹都市委員会・福岡市
66	文楽いろはレクチャー	12/18	69	(公財) 福岡市文化芸術振興財団、福岡市
67	南インド古典舞踊バラタナティアム大地への祈り 山口和子アランゲトラム	12/20	60	スタジオオ ビッバラ
68-70	智ちやん先生と愉快な仲間たちの智書(さとりしよ)展	12/21 ~ 12/23	247	林田 智子
71	講演会「北斎 波瀾万丈90年の生涯」	1/11	100	毎日新聞社
72	小津安二郎の世界	1/12	70	リッスン・クラブ

平成26年度あじびホール利用状況（3月末現在）

福岡アジア美術館

番号	催事名称	開催月日	入場者数	主催者
73	イタリア映画鑑賞会	1/16	34	福岡日伊協会
74	joyひこばえ 開設10周年記念事業 ～まだまだ10年 のひのびチャレンジ～	1/17	120	こども発達支援施設 Joyひこばえ
75	Yalla! ベリー、フェス	1/18	90	ベリー・フェス2015
76	「ふるさとの歴史と文化」遊学講座	1/20	58	一般財団法人 西日本文化協会
77-78	演劇づくりのための10アイテム（俳優向け）「演技の整理整頓」成果発表公演	1/23 ～ 1/25	73	（公財）福岡市文化芸術振興財団、福岡市
79	トークセッションFT5をふりかえる！	1/24	72	福岡アジア美術館
80	博多区文化・芸術表彰式	1/29	60	まつりはかた実行委員会
81-82	福岡シネマフェスティバル	1/31 ～ 2/1	190	福岡シネマフェスティバル実行委員会
83-87	平成26年度高文連第28回デザインコンペ第25回絵はがきコンクール	2/4 ～ 2/8	576	福岡県高等学校芸術文化連盟
88-92	総合学園ヒューマンアカデミー福岡校パフォーミングアーツカレッジ 1年生進級公演	2/10 ～ 2/15	670	総合学園ヒューマンアカデミー福岡校
93-98	2014 アジアデジタルアート大賞展FUKUOKA動画面部門の作品上映	2/19 ～ 2/24	149	2014 アジアデジタルアート大賞実行委員会
99	イタリア映画鑑賞会	2/27	56	福岡日伊協会
100	福岡フットボール映画祭	2/28	300	福岡フットボール映画祭実行委員会
101	3・11映画祭in福岡	3/6	71	福岡インディペンデント映画祭、わわプロジェクト
102	福岡音楽広場	3/7	90	音悟空
103	FT5映像作品内部向け上映会	3/8	38	福岡アジア美術館
104-106	日本語私辞典	3/12 ～ 3/14	131	オイスターズ
107	春一番 オールリクエストラライブ	3/15	70	ムーンライトオプティクス
108	「ふるさとの歴史と文化」遊学講座	3/17	55	一般財団法人 西日本文化協会
109	石川幸二教授退職記念最終講演会「現代アートへの招待」	3/19	58	石川幸二教授退職記念事業会
110	バンクバー×東京×福岡それぞれの地でグローバルに活躍するCG・VFXクリエイター3名が語る！世界で通用するクリエイターになるための条件	3/22	85	デジタルハリウッド福岡校
111	演劇づくりのための10アイテム/シンポジウム『公共劇場と地域の芸術団体』	3/26	70	（公財）福岡市文化芸術振興財団、福岡市
112	2014年度生活発表会 卒園式	3/28	100	（有）キッズプランニング

平成26年度あじびホール利用状況（3月末現在）

福岡アジア美術館

番号	催事名称	開催日	入場者数	主催者
113	浜田島プレゼンツ田島照久トークイベント	3/29	235	株式会社ロードアンドスカイ
合計			9,698	

## 新発見 喜多川歌麿「花魁と禿囃」について

8月8日（土）～9月20日（日）に福岡市美術館で開催する特別企画展「肉筆浮世絵の世界」のための作品調査と出品交渉をする中で、これまでに知られていない喜多川歌麿の作品と考えられるものを新たに発見したため、平成27年7月22日に下記のとおり記者発表を行った。

### 1 記者発表について

(1) 日時

平成27年7月22日（水）午後2時

(2) 説明者

福岡市美術館 副館長 中山 喜一郎

国際浮世絵学会 理事 石田 泰弘（特別企画展「肉筆浮世絵の世界」監修者）

(3) 参加報道機関

17社

### 2 作品概要

(1) 作品名

喜多川歌麿筆「花魁と禿囃」 1幅

(2) 制作時期

寛政2～5年（1790～1793）

(3) 品質形状，法量

紙本墨画 掛幅装

縦117.6 横46.3cm（本紙のみ，表具含まず）

(4) 所蔵

個人蔵（国内）

(5) 発見の経緯

8月8日（土）～9月20日（日）に福岡市美術館で開催する特別展「肉筆浮世絵の世界」のための作品調査と出品交渉の際、個人蔵であった同作品を、本展監修者石田泰弘が、これまでに知られていない喜多川歌麿の真筆と鑑定し、新発見となった。

(7) 作品の特徴

画題は、歌麿得意の美人画であるが、水墨作品であること、花魁の姿が真正面から捉えられていること、画中に山東京伝の賛文があることなど、これまでに知られている約50点の歌麿作品の中でも非常に珍しい作品である。

(8) 展示予定

上記展覧会にて、全会期を通じて展示、公開



刀イラニ界きる兼身別アリニス  
 の北手あり一名成安藝連則と  
 竹ふ世國海。夕出う四角能雞卵と  
 唐と國人、晝帳手更夜と、頭身  
 龍甲の如き角と生く目きる身  
 飯くは利刀のや指とらつて林の  
 藤成もむ及一以爲ふと陽味  
 と惑し下茶と迷ととらつて  
 等間とて成地ととらつて報  
 鏡の升と活ととらつて再出と  
 二ととらつてとらつて客物とと  
 詳とと

山東京傳



喜多川歌麿《花魁と禿囃》個人藏